

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	食道癌患者における術前化学療法中の摂取栄養量と手術前の栄養状態との関係についての単施設後方視的研究 (B25-209)
当院の研究責任者 (所属・職位)	栄養部 部長 比企 直樹
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>ステージ2・3の進行食道癌で手術が適応となる患者さんに対して行われる術前化学療法のDCF療法（ドセタキセル・シスプラチン・5-FU併用）は、治療効果が高い一方で、食欲不振、口内炎、低ナトリウム血症など、食事摂取を阻害する副作用が高頻度に発現することが報告されています。これらの副作用により、DCF療法中の栄養摂取量が低下しやすく、栄養状態が低下することが報告されており、術前低栄養はその後の生存率の低下と関連することが示されています。</p> <p>しかし、DCF療法中に患者さんが実際にどの程度エネルギーやたんぱく質を摂取できているのか、またその摂取量が術前の栄養状態にどのように影響しているのかについては、十分に検討されていません。本研究ではこれらの関連を明らかにし、食道癌の患者さんに対する術前栄養治療の最適化に寄与することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	術前化学療法オーダーが出た日から2026年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2022年10月18日から2025年12月31日に当院に入院され、術前化学療法（DCF療法）を行った患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>術前化学療法オーダーが出た日から2026年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は診療記録のみを用いる観察研究であり、研究の資金源は要しません。利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：栄養部 主任

担当者：森岡優子（モリオカユウコ）

電 話：042-778-8107

備 考